

# 高島町立高島小学校PTA

## PTAと地域活動の双方向のつながりで子供を育てる

東置賜郡高島町  
児童数351名

### 学校の特徴

学びが楽しい学校 心のやさしい学校 健康でたくましい学校

今年145周年目を迎える。学校支援地域本部事業を受け地域ボランティアが充実しており、子ども見守り隊、環境整備、読み聞かせ、語り部、クラブ活動、学習支援など年間のべ8000名を超える。学校農園、学校林をもつ。

### 地域の特徴

高島地区は、高島町のほぼ中心に位置し、東は福島県・宮城県と接し奥羽山系の山懐にあたる。北は高島石と呼ばれる凝灰岩の山肌が見え、採石場跡は独特な景観をなしている。安久津八幡神社や史跡洞窟や古墳群、文化遺産等が数多あり、豊かな自然と歴史あふれる地区である。本校も高畑城跡地にある。

### 特徴的な活動

## PTAから地域へ 学区を超えた「ぽっかぽかシアター」



読み聞かせボランティア「ひだまりおはなし会」は、PTA有志の読み聞かせから始まった。11年前、読み聞かせと司書ボランティアを一本化したことを機に誕生したぽっかぽかシアター（大判用紙に絵を書いた大型絵本の読み聞かせ）は、毎年、秋に活動している。現在では、その活動が広く認められ、本校以外にも、幼児施設、他地区小学校、浜田広介記念館のクリスマスイベントなどでも上演している。

ぽっかぽかシアターでは、絵本の内容に合わせた楽器演奏も加わる。鑑賞する児童は、躍動感あるペーパーサート、そして、本の中の登場人物の感情を乗せた生演奏を体全身で感じ、本の世界、手作りのあったかい世界に魅了されていく。

現在18名（14名が現PTA保護者・4名がOG）が活動し、毎週木曜日には読み聞かせ、司書勤務に合わせて、本の整理やブックカバー張り、など司書のお手伝いをしている。



## 地域からPTAへ 子どもと楽しむ農園活動

### 焼き芋で笑顔ほっくほく



収穫したさつま芋は、環境ボランティアの地域の方々に加えて、5年ほど前からPTA役員がU字溝を準備し、全校焼き芋をしている。総合学習と中間休みを利用して、児童分に切ったさつま芋を2年生が新聞紙とアルミホイルで包み、環境整備ボランティアの方々と畑稲作部役員が協力して、焼き上げる。学校全体が焼き芋の香りと全児童のホックホクな笑顔で満たされる恒例行事となっている。



### 成果

- ・ぽっかぽかシアターの製作規模、発表範囲が広がるにつれ、メンバーはゆっくりと増加傾向にある。地区外からの上演依頼も増えている。
- ・稲作も餅つきも経験がない保護者が多い中で、子どもと共に汗をかき、収穫の喜びを共有できる機会は、親にとっても子どもにとっても大変有意義である。
- ・餅つきでは、招待客である地域ボランティアの方が率先して指導者となり、地域の方・保護者・子どもと一緒に餅つきを楽しんでいる。

## あせっこ農園を支える会と PTA畑稲作部



地域の農家の方々が「あせっこ農園を支える会」として田畑の管理と作業指導にあたったださっているが、PTAでも畑稲作部を設置し（各クラス1名）、あせっこ農園を支える会から指導を受け、体験学習時の準備や片付けなどを手伝う。11月の学習発表会時に餅つきを行い、地域ボランティアの方々も招いてつきたてのお餅を振舞っている。餅つき経験がない保護者も多い中で、招待客である地域ボランティアの方が率先して指導者となり、地域・保護者・子どもと一緒に餅つきを楽しんでいる。

### 課題

- ・ぽっかぽかシアターでの楽器演奏は、地域の方や保護者が協力しているが、いつも都合の利く方ばかりではない。これからも新しいメンバーを勧誘し、持続的に運営できるようにしていきたい。
- ・PTA畑稲作部では、児童数の減少により、昨年度から学校田の作付け面積の縮小および畑稲作部員をクラス2名から1名に削減した。人手不足を補うために全保護者へボランティア依頼をかけている。
- ・役員歴年数が長い保護者が増えてきた。児童数が減るのだから当然のことのように思えるが、保護者全体で均等に役員を担うことが困難になってきている。